

承 知 し

<p>受領者の筆跡、所屬、本人の氏名及び生年月日</p>	<p>当部で承知している死没の場所及び年月日並びに死因となつた病名</p>	<p>受領又は発病年月日及び場所</p>	<p>受領 地位又は病名</p>
<p>死 傷 誰の命令、指揮、監督によつてどんな作業をしていましてか</p>	<p>死 傷 受領時の状況、事故の経過、原因、結果、死傷の程度、死因、死場所、死時刻、死体発見場所、死体発見時刻、死体発見者、死体発見場所、死体発見時刻、死体発見者</p>	<p>水刃天</p>	<p>昭和十九年六月一日 蘭印ハバリア島バリア海岸 稜橋 昭和十九年六月一日 水刃天 昭和十九年六月一日 水刃天</p>

受領

元海軍兵隊死因調査資料

(兵庫県復興部)

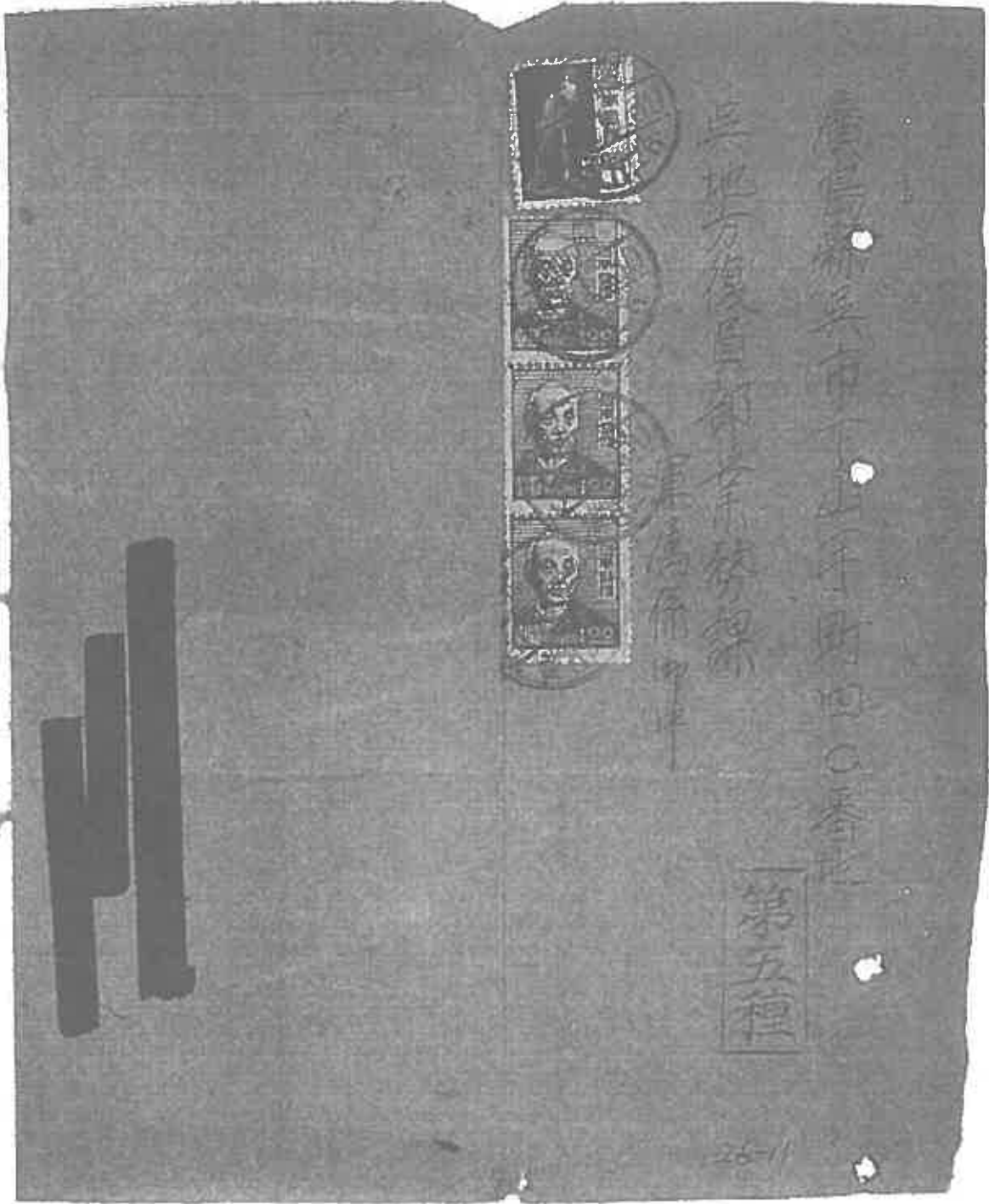
な	い	事	期
<p>全編の人物の 性格に ついては 著者が いかに 注意を 払って いるか が、 著者の 筆力に よって よく 表現 されて いる。</p>	<p>著者が 当時の 状況を 詳細に 説明し て下さ る。</p>	<p>著者の 筆力に よって よく 表現 されて いる。</p>	<p>著者が 当時の 状況を 詳細に 説明し て下さ る。</p>
		<p>昭和十一年十一月一日 昭和十一年十一月一日</p>	<p>油魚一草 [Redacted]</p>

右の通りです。

昭和三十一年一月二十九日

住所
氏名

[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]



廣東省城
長堤地方復員部
軍務處
中山路
電話
〇
番
號

第五種

25-11



海軍軍令整備令

42740

昭和十八年八月五日

第三三一海軍航空隊()部隊()スミナガシ島北ノ六ノ島

航空基地。向佐伯至空()軍艦隊()便也

昭和十八年八月十九日

十八ノ島基地着

昭和十八年九月十日

第五二海軍航空隊()着()部隊()部隊

昭和十八年十月十日

十八ノ島基地()戦艦隊()

昭和五年一月二十七日
海軍大臣(つぐし丸)より東宮様御前へ入港云

右記要旨を傳達す。一、諸明教と復也

昭和五年十月三十一日

現任所

海軍大臣御前
第一海軍艦隊
第一海軍艦隊

海軍大臣御前

陸地方復員局人事課

書(昭和二十二年)十月十五日

入籍番

名	死因	死の	原因	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	遺言あり

下記記入して下さい

199

紙 箋 符

昭和二十二年 月 日

陸地方復員局人事課

入籍番

本人は昭和二十二年一月三日付初
 席に於て是より故三回
 余首の遺言等々を記述せしむるは煩瑣を
 免れ、且、遺言の旨を正確に記述すべし
 人々の処理に資するに留意すべし

終

1110

死 殒 者 調 査 書

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月日	等 級	死 因	死 種	死 年 月 日	死 時 刻	死 所	死 後 遺 留 物	死 後 遺 留 金 額	死 後 遺 留 債 務	死 後 遺 留 債 權	死 後 遺 留 債 權 額	死 後 遺 留 債 權 種 別	死 後 遺 留 債 權 額	死 後 遺 留 債 權 種 別	死 後 遺 留 債 權 額	死 後 遺 留 債 權 種 別	死 後 遺 留 債 權 額
		第 二 陸 軍 輸 送 隊	一 九 一 九	一 等 兵
				

74

昭和 年 月 日

申	入籍番号	筆名	氏名
志	本籍地		
者	現住所		
の	所属部隊		

備考

一 本調査は死没者の身の上関係一切を處理するもので
あるから慎重に且詳細に記入して下さい。

二 他人がう聞きも承知した事項は其の旨末尾の
餘白に記入して下さい。

終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	個 有 便 乗 組		船 艦 に お け ら れ た 事 故		現 況 の 取 扱 の 状 況		現 況 の 取 扱 の 状 況	
		乗 組 員 の 名 前	乗 組 員 の 年 月 日	乗 組 員 の 年 月 日	乗 組 員 の 年 月 日	乗 組 員 の 年 月 日	乗 組 員 の 年 月 日	乗 組 員 の 年 月 日	乗 組 員 の 年 月 日
(公)	佐世保人車乗務員にて判定								
(明)									
(不)									
(生)	世話課(科)にて判定								
復員員									
49-10									

死服者調査書

11月 27日 鹿嶋警察署 第2復原係

本籍地	鹿嶋市	住所	鹿嶋市	所属部隊	二二四隊
生年月日	昭和十一年三月	年齢	26歳	入籍香子	平織 平島 (三頁) 鹿嶋市
職業	海軍	階級	一等兵	本籍地	鹿嶋市
勤務先	海軍	勤務地	鹿嶋市	住所	鹿嶋市
死因	肺炎	病状	肺炎 呼吸困難 痰多 胸痛 咳血	所属部隊	二二四隊
発見日時	昭和十一年十月	発見場所	鹿嶋市	備考	
発見者	同僚	発見状況	発見時意識不明		
検死日時	昭和十一年十月	検死場所	鹿嶋市		
検死医師	鹿嶋市医師	検死結果	肺炎 呼吸困難 痰多 胸痛 咳血		
死因	肺炎	備考	肺炎 呼吸困難 痰多 胸痛 咳血		

※備考
 1. 本調査書は死服者。身上調査(同一)と処理する。であるから
 慎重に因り詳細に記入して下さい
 2. 死因を明らかにし、死因を初めに記載し、その旨を余り記載して下さい

67562

死亡者、生死不明者調査表

奈良縣世話課第二復員科

本籍地	所属部隊	生死別	死亡又は行方不明當時の状況	申請者
[Redacted]	第二十九警備隊	戦病死	七口久平島へ見送に行き敵上陸戦中より中に依り戦病死	同部隊 [Redacted] [Redacted] [Redacted]
		同上奉月日		
		一九四八年頃		
		一等兵		
		水長		
		氏名		
		同上場所		
		七口久平島		
		兵種		
		[Redacted]		

七口久平島へ見送に行き敵上陸戦中より中に依り戦病死

145

左 兵部	現 住 柳	約 属 部 隊	入 部 年 月	年 級	内 地 海 防 隊 長 官	年 月 日	年 月 日	勤 務 機 要	大 分 兵 隊	各 項 入 部 年 月 日	各 項 入 部 年 月 日
[Redacted]	右 同	横 須 賀 局 長 官 也、 四 七 年 四 月 入 部	昭和 十 四 年 大 陸 百 戰 隊 長 官	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	昭和 十 八 年 十 二 月 頃	マ ラ リ ア	マ ラ リ ア	マ ラ リ ア
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	兵 種 機 務 兵	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

死 致 著 調 書

本籍地	[Redacted]
現住所	今 右
所屬部隊	第一九號警備隊
入團年月	昭和九年十一月一日 役種
官等級	兵種 兵長 生年月日 籍番號
内地奉務出役年月	昭和九年五月廿日
戰地到着年月日	昭和九年九月朔旬
勤務概要	[Redacted]
發病(受傷)年月日	[Redacted]
病名(受傷)部位	[Redacted]
發病(受傷)又	[Redacted]
戰死時(狀)况	[Redacted]
死年月日時刻及場所	昭和十九年十一月廿一日 連隊 八二〇八三馬山

640

右由 告 不
昭和二十一年八月

氏名	所屬部隊	官等級	入籍番號
	第九警備隊	中尉	
本籍地	現住所		

備考

(一) 本調書ハ部隊長又ハ殘務取扱者等吳地方復員局人事部長宛
通報スベキ責任者ニ於テ知得シラスト認ルモノニ付記載ス

(二) 吳鎮在籍ノ特務士等、准士官、下士官、兵ニ付記載ス

(三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス

(四) 知得シアル範圍ニ於テ出求付ル限リ詳細ニ記載ス

(五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス

終戦後、出京、自活、知得、歸入、甚後、之、現、之、後、之、人、事、人、取、扱、不、
尚、中、有、り、当、時、之、人、事、人、取、扱、不、
然、上、以、上、ハ、大、事、人、取、扱、不、
二、十、六、年、現、在、中、有、り、五、年、五、月、二、十、九、日、改、編、(一) 名、付、リ、
實、在、九、年、現、在、中、有、り、五、年、五、月、二、十、九、日、改、編、(一) 名、付、リ、
当、時、之、人、事、人、取、扱、不、
心

4009

640-10

香川縣

本籍地

現任

所屬部隊

入隊年月

等級

職名

備考

備考

備考

備考

備考

死 及び 有 調 書



百參海軍航空基地隊

昭和七年九月

整備兵長

昭和九年八月

航空機用燃料車運轉手

昭和十九年九月

砲撃受傷 (足部及腹部)

受傷時二月 日本軍八散江谷トト互戦テ
十二月十九日午後五時 木下トトニテテテ其ノ上

現任

時况

時况

昭和五年春

三月十日

戦死

籍番

等

住

右同心

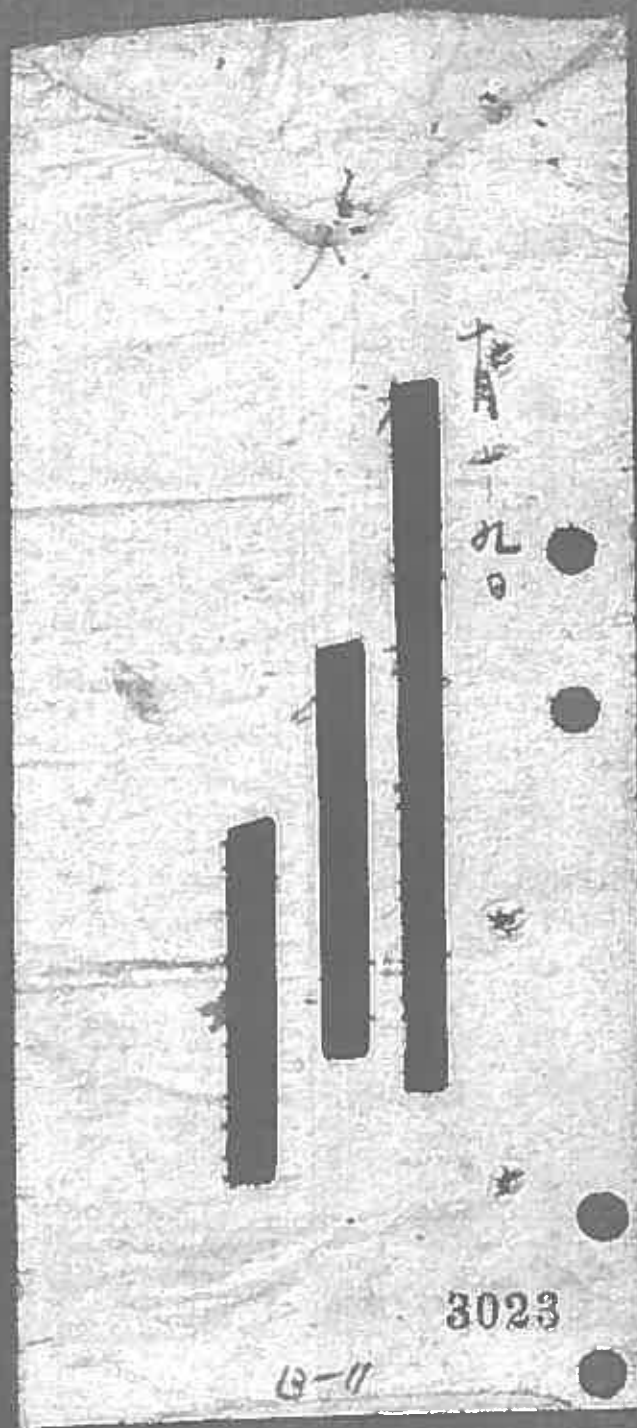
兵部隊

百歩海軍航空基地隊

昭和五年

承知

[Redacted]



3023

18-11



舞鶴地方復興局

人事
部
印
中

3024

18-12

舞復人第 號の

昭和二十二年十月十五日

舞鶴地方復員局人事部

照 會

抄 送

復員事務を整理し、このこと存心
を要するが、事務が厄介な者、下駄を
八月より五日から貴局と同じく、
隊務移り者が、おのれ、内他、
の、不、当、り、と、ま、り、人、事、必、上、
君、貴、局、に、於、こ、で、人、事、必、上、
リ、ア、ム、に、其、に、混、争、お、な、ら、
不、能、の、い、ら、し、ま、す、

おのれ

[Redacted]

終

(本紙は切断せずに返却して下さい)

昭和二十二年十月二十五日

舞鶴地方復員局人事部御中

回 答

首途向合の仰

昭和二十二年九月六日 戦病死

戦中中に、大暴下するも

得ず埋葬せし、昨午(六月中旬)

復員所、二十日、其の、

書類送海の長に、

遺骨は、共に、泉下、

遺骨は、其の、

遺骨は、其の、

3025

13-13

書 明 証 認 現 確 亡 死

邦・海・陸



資 料 提 供 者		死 亡 者																		
法方つ知を亡死 戦死したと聞 いた	内還の爲使船 を乗ったが即 ち戦死したと 聞いた	遺留品の処 理	遺骨及び遺 骸の処理	元 (死亡事由 (傷病名))	諸 死亡場所	亡 死亡日時	死 死亡区分	発病場所	発病時期	区 分	本 籍 地	開戦時の住所 (在留地)	所属(所轄)	部隊又は職	称 通	有 固				
													第332設営隊	第332設営隊	第332設営隊	第332設営隊				
関係のと者亡死 棟にいた	同隊の戦友で いた			アンボン島 内還便船中敵潜と交戦沈没戦死	アンボン島 アンボン港口外	昭和19年9月20日	*	モルツカ諸島 アンボン	昭和19年7月19日	内	容		属 所 部 細	面 局 区 地	種 兵	種 役				
(所屬) 第332設営隊 (部 隊) 第332設営隊 (職 務) 工員	現住所												死亡当時の状況及び参考資料	者当担留守 名氏 所住現	名 氏	統 柄 (妻)	名 氏	年 月 日 生	女 (男)	
													死亡当時の状況及び参考資料 一、はアンボン分院の同病棟に入院中、内還を命ぜられて昭和19年9月20日便船(船名不詳)小船艇に便乗した。約四十名の乗客が自動車を台に分乗して退院中、突如戦死した。二、自らの便船は港口外で敵潜と交戦沈没、戦死したと聞いた。							

真面目に調査を要して下され。 (紛らわしい場合は詳細に及びませぬ)

68067

152

申告者	項部明表活上之五三		機所 員 姓 名	本 籍 地
	所屬部	職名		
職名	カウ ニル 警	現任不明者 高橋 研	方面 南西	
	一 段 職 名	現任不明者 高橋 研	部 二九 警	
	二 段 職 名	二 九 警		
	初 任 判 明 情 況	十九年九月二十八日ハルマヘラ カウニルニ九警 ノ病室トテテ死 （二九警 戦死者名簿登録）		

昭和二十三年一月二十八日

3027

766

書 明 證 認 理 確 亡 死

邦・海・陸

資 料 提 供 者 死 亡 知 方 法	資 料 提 供 者											
	遺留品の処 理	遺骨及び遺 骸の処理	元(死亡事由 (傷病名))	諸死亡場所	亡死亡日時	死死亡区分	発病場所	発病時期	区 分	本籍地	開戦時の住所 (在留地)	所屬(所屬) 部隊又は職 域名
和 友 (戦友)			身リヤ兼榮倉矢調	トカ予川ト流	昭和19.9.27	戦傷死			内			有 留 澤比空
死 亡 者 と の 関 係	死 亡 者 と の 関 係											
先 任 者	先 任 者											
現 住 所	現 住 所											
所 屬 部 隊 職 域	所 屬 部 隊 職 域											
上 磯 商	上 磯 商											
附 随 職 名 (名)	附 随 職 名 (名)											
種 兵 種 役	種 兵 種 役											
留 守 担 者 名 氏	留 守 担 者 名 氏											
本 籍 地	本 籍 地											
死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料											
統 柄 (文)	統 柄 (文)											
死亡時 (文)	死亡時 (文)											
種 兵 種 役	種 兵 種 役											
階 級 (職 名)	階 級 (職 名)											
名 氏	名 氏											
年 月 日 生	年 月 日 生											
女 (男)	女 (男)											

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

第 4025

3028

死 亡 確 認 證 明 書

陸・海・邦

資 料 提 供 者		死 亡 者													
死 亡 者 を つ 知 た 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 諸 元 (死 亡 事 由 (傷 病 名))	諸 諸 諸 諸 (死 亡 場 所)	亡 亡 亡 亡 (死 亡 日 時)	死 死 死 死 (死 亡 区 分)	猪 猪 猪 猪 (猪 病 場 所)	猪 猪 猪 猪 (猪 病 時 期)	区 区 区 区 (区 分)	本 本 本 本 (本 籍 地)	開 開 開 開 (開 戦 時 の 住 所 (在 留 地))	所 属 (所 轄)		
													部 隊 又 は 職 域 名		
知 人				ノリヤ兼栄養失調	ヤカテ川下流	昭和19.9.27	* 戦 疫 死			内			赤 松 室	三 室 基	細 部 所 属
保 関 の と 者 亡 死		<p style="text-align: center;">先 任 者 遺 骸 遺 留 品 地</p>													
現 住 所 (所 属 部 隊)		<p style="text-align: center;">上 三 室 基 遺 骸</p>													
職 名 (職 名)		<p style="text-align: center;">上 三 室 基 遺 骸</p>													
階 級 (階 級)		<p style="text-align: center;">上 三 室 基 遺 骸</p>													
姓 名 (姓 名)		<p style="text-align: center;">上 三 室 基 遺 骸</p>													
留 守 担 当 者 名 氏 (留 守 担 当 者 名 氏)		<p>死亡当時の状況及び参考資料</p>													
所 住 現 (所 住 現)		<p>アノポンに本所チある各基地に配属されたが、本人はマノクワリ基地を以て、9月23日、24日大発艦に便乗し基地に進出。奮闘中であつたが、戦況が次第に悪化し同基地を全り、アノポンに復隊することになつた。この際、ヤカテ川下流の向を以て降つた時十三名死した、この十三名の中には一人に日死し、一、</p>													
留 守 担 当 者 姓 名 (留 守 担 当 者 姓 名)		<p>姓 名 (姓 名)</p>													
留 守 担 当 者 階 級 (留 守 担 当 者 階 級)		<p>階 級 (階 級)</p>													
留 守 担 当 者 職 名 (留 守 担 当 者 職 名)		<p>職 名 (職 名)</p>													
留 守 担 当 者 所 属 (留 守 担 当 者 所 属)		<p>所 属 (所 属)</p>													
留 守 担 当 者 住 所 (留 守 担 当 者 住 所)		<p>住 所 (住 所)</p>													
留 守 担 当 者 兵 種 (留 守 担 当 者 兵 種)		<p>兵 種 (兵 種)</p>													
留 守 担 当 者 役 種 (留 守 担 当 者 役 種)		<p>役 種 (役 種)</p>													
留 守 担 当 者 階 級 (留 守 担 当 者 階 級)		<p>階 級 (階 級)</p>													
留 守 担 当 者 姓 名 (留 守 担 当 者 姓 名)		<p>姓 名 (姓 名)</p>													
留 守 担 当 者 年 月 日 生 (留 守 担 当 者 年 月 日 生)		<p>年 月 日 生 (年 月 日 生)</p>													
留 守 担 当 者 性 別 (留 守 担 当 者 性 別)		<p>性 別 (性 別)</p>													

裏面記載上の注意を見てください。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)



死 亡 現 認 證 明 書

陸 海 邦

資 料 提 供 者		死 亡 者							本 籍 地	区 分	發 病 時 期	發 病 場 所	死 亡 區 分	死 亡 日 時	諸 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理											
		所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 名	域 名	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)																									
資	提 供 者	固 有	一ノ三航空	基也隊	基也隊	昭和二年九月廿九日	戦病死	マヨリヤ兼栄養失調	ナビル基地	内	容	※	※	※	※	※	※	※	※										
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			
資 料 提 供 者		固 有		一ノ三航空		ナビル基地		内		容		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			
資 料 提 供 者		固 有		一ノ三航空		ナビル基地		内		容		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			
資 料 提 供 者		固 有		一ノ三航空		ナビル基地		内		容		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			
資 料 提 供 者		固 有		一ノ三航空		ナビル基地		内		容		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			
資 料 提 供 者		固 有		一ノ三航空		ナビル基地		内		容		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			
資 料 提 供 者		固 有		一ノ三航空		ナビル基地		内		容		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			
資 料 提 供 者		固 有		一ノ三航空		ナビル基地		内		容		※		※		※		※		※		※		※		※		※	
法 方 た つ 知 を 亡 死		所 属 (所 轄)		域 名		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		本 籍 地		区 分		發 病 時 期		發 病 場 所		死 亡 區 分		死 亡 日 時		諸 死 亡 場 所		元 死 亡 事 由 (傷 病 名)		遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理		遺 留 品 の 処 理			

裏面記載上の注意を見てください。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

種 兵	種 役
整 備 兵	一 補
死 亡 時 階 級 (軍 階 級 名 義 以 外)	
意	
名	氏
年	月
日	生
女	男

死亡当時の状況及び参考資料

ナビル基地に投入隊中、状況が悪化して、ナビル基地に引返した。

昭和二年九月二十五日、ナビル基地に到着し、翌日、マヨリヤ兼栄養失調に罹り、下流で死亡した。

所 属 (所 轄)	所 住 現
一ノ三航空	ナビル基地
職 部 (隊 艦)	
上 隊 曹 日	
(名 職) 級 階 名 氏	

書 明 證 認 現 亡 死

邦・海・陸

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(察及び裏面の各欄は印刷に及びません)

資 料 提 供 者		者 亡						死						
死 亡 知 っ た 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 諸	亡 諸	死 諸	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	通 有 固	稱 通 有 固
知 人				(死 亡 事 由 (傷 病 名))	死 亡 場 所	死 亡 日 時								
戦 友				コトリヤ兼栄養栄栄	ヤカテ川下流	昭和19年9月27日	戦病死		内			田南道司	田南道司	田南道司
死 亡 者 と の 関 係												ニエーギヤ	その他	その他
現 住 所														
所 属 (所 轄) 部 隊 (職 域 名)														
上 級 官 階 (名 職)														
留 守 担 当 者 名 氏		死亡当時の状況及び参考資料												
統 柄 (父)		アノボント本所をおき各基地に配員されたが、7月19日、24日大発艦便乗基地に途中、倉庫中、つたが戦況が次第に悪化し同基地員は全員のボンに殺斃する事になった。この際ヤカテも、イドレ向を以て降つた時、三名死した。この三名の中、一人は死した。												
名 氏		[Redacted]												
年 月 日 生		[Redacted]												
性 別		男												

書 明 證 認 現 確 亡 死

邦・海・陸

資 料 提 供 者 死 亡 知 っ た 方 法	資 料 提 供 者									
	遺留品の処 理	遺骨及び遺 骸の処理	元 諸 (死亡事由 (傷病名))	諸 死亡場所	亡 死亡日時	死 死亡区分	発 病場所	発 病時期	区 分	本 籍地
和 友	内 容									
			マロリヤ兼栄養失調	トカテ川下流	昭和19.9.27	*戦傷死				
死 亡 者 と の 関 係	死 亡 者 と の 関 係									
先 性 者	先 性 者									
所 住 現 所	所 住 現 所									
所 屬 所 轄 部 隊 職 域	所 屬 所 轄 部 隊 職 域									
一〇三空 上磯曹長	一〇三空 上磯曹長									
階 級 (職 名)	階 級 (職 名)									
	長 整									
死 亡 時 刻 階 級 (職 名 又 是)	死 亡 時 刻 階 級 (職 名 又 是)									
長 整	長 整									
名 氏	名 氏									
年 月 日 生	年 月 日 生									
女 (男)	女 (男)									
留 守 担 当 者 名 氏 所 住 現 所	留 守 担 当 者 名 氏 所 住 現 所									
統 柄 (母)	統 柄 (母)									
死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料									
アンボンに本拠をおき各基地に廻りまわったが本人はマロリヤ基地より19.9.23-24大発進、便乗基地に途中奮闘中、戦況次第に悪化し同基地より全員アンボンに復隊することになった。この際、マロリヤ基地に降下した。この降下した13名死と、この降下した13名中の一人死とがマロリヤとある。										

裏面記載上の注意を覚えておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

12/4 1111

北平後右朔盡

本籍代	[Redacted]
現任所	[Redacted]
所屬部隊	海軍第... 警備隊 [Redacted] 防空隊
入隊年月	昭和八年八月一日
階級	中尉
本任職務	預備員
戰地勤務年月日	昭和八年十月十八日
勤務地	海軍防務隊
發給(支那)年月	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

449

後夜(支) 天我(時)
丁狀(祝)

後夜(支) グライン 我(時) 天我(時)
天我(時) 天我(時) 天我(時)

天我(時) 天我(時) 天我(時)

天我(時) 天我(時) 天我(時)

天我(時) 天我(時)

昭和五年四月七日

本籍地

現住地

所居部隊

氏名

備考

[Redacted]

入籍番号

[Redacted]

海軍中隊 防衛隊

番号

海軍中隊

489-10

3034

福州縣

姓	名	籍貫	職	死之原因	死之場所	死之年月日	備考
陳	炳	福州
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

爆炸中戰死

海軍一等兵曹

...

戰死者 4969

<p>昭和十九年十一月二十日、在藤二於中 所座、入之、所、直、堅、理、子 勤、尼、九、九、日、也、玉、楊、成、 右、等、事、實、十、九、事、一、能、明、又 回、神、後、知、友</p>			<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>
<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>
<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>
<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>	<p>年月日</p>

176-10

受遺者

元海軍少尉 堀田 豊彦

（真地方後身部）

死没者の本籍、所屬、身分、氏名及び生年月日

（隠）
（隠）
（隠）

昭和三年三月
四月三日 東京生可
（隠）

當面て承知してゐる死没の場所及び年月日並びに死因となつた傷病名

昭和十一年三月に於て戦死
（病名等詳細不詳）

受遺又は発病年月日及び場所

昭和十一年三月 海軍少尉 堀田 豊彦 入院シテ

受傷部位又は病名

炸薬中熱病、入院シテ

誰の命令、指揮、監督によつてどんな作業をしてゐましたか

一、艦長、命令、指揮、監督
土工トシテ、行場、又は造船所土場。防空ゴの定張

承知

受遺者の状況（事故の原因、本人が従事してゐた作業と事故との因果関係等）を説明して下さい

（隠）

3037

44-17

某

死因	病状の経過	遺言
<p>死前にはおぼろげに病状の全般的な経過と本人の意識状態について</p>	<p>発病当時の症状を詳細に説明して下さい</p> <p>病名を知らされたものであれば、その時期と方法について</p>	<p>貴族が死後者と行動を共にした期間</p>
<p>発病後、次第に衰弱を著し、本人も元気が働かず、 ヨリヨリ熱病の予兆入院して、 入院後一ヶ月ほどで完全な状態</p>	<p>入院二ヨリ前より顔色が悪くなり、作業も休んで休養 し、発病後、ヨリヨリ熱病の予兆入院して、 発病後、次第に衰弱を著し、本人も元気が働かず、 ヨリヨリ熱病の予兆入院して、 入院後一ヶ月ほどで完全な状態</p> <p>約七月月録</p>	<p>貴族の外に当時の状況を承知してゐると考えられる者の住所、氏名</p>

右の通りです。
昭和三十年一月二十六日

住居氏名

御明志本

死 歿者調書 九月八日

徳島地方支隊部
第二校員課 藤田

本籍地

現住所

所屬部隊 第二十三特別根據地隊 部下負責隊

入團年月日 昭和三年三月三日 役種 隊員 兵種 兵種

等 級 上等兵 姓名 [redacted] 入籍 [redacted]

内地港灣出陣 昭和三年十月十五日 内地港灣名 長崎縣佐賀郡小島

外地到着 昭和三年十月十七日 到着地名 七ノノス島 何マニ上陸

勤務の概要 昭和三年十月十七日 八時頃マニ上陸 翌日 第二特別隊
隊員として上陸 同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日
同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日 同日

疾病又は受傷 年月日

病名又は受傷

備考

昭和九年 十一月九日
 元三所 外
 戦死

右の通系加
 昭和九年八月十日

申入籍番号	第...
告本籍地	...
者現住所	...
の所属	第二十三特別根據地隊

備考

本朝書... 且つ詳細に記入
 抑有丸 1962
 長之助 敵前 確以 業同 隊 同 勤務 之 先 者 矣

死者調書

本籍地	理住所	第卅部隊	昭和	年	月	日	從種	種	科	官寄級	戰地當着	年月日	勤勞概要	發病(受傷)	年月日	病名(受傷)	年月日	發病(受傷)	年月日	發病(受傷)	年月日	死亡	年月日	中者	本籍地	理住所	第卅部隊	氏名

一 吳鎮守府正籍、特務士官准士官下士官及兵付託載又
 二 吳鎮守府分論、巡府縣出身者、付トモ託載又
 三 如船之正籍、因於手出未得、限リ詳細ニ記載ス
 四 如手出未得、限リ詳細ニ記載ス

62-788

香川縣

昭和五年三月十日

三男七郎香川長

此書地籍簿及地籍部後有香川長

死後有田圃事件 田圃

債權人等前一二七八八號照會首與之件 田圃し調査

債權者前田圃之項之債

記

元水長

昭和五年三月十日 昭和十九年三月十日

元水長 田圃之項 田圃し調査

田圃之項 田圃し調査

田圃し

佐世保地方復員局

82-14

欄 答

(註)	復員場の合		復員場の合			
	本	人	何	れ	御	知
<p>一 本票は最高位向山帝下山手所其地有復員業務録用人員 一 補給必らず送送し下さ 一 知得事項は推定し結構すから細大なく記入し下さ 一 諸患は確認し下さ他人の得た知得事項は必ず記録し下さ</p>	復員	復員	方	何	御	知
	復員	復員	と	い	と	知

1510



廣島縣吳島区内吳市下山手町

吳地方復興員事務所 王部

復興事業課 庶務一御中

認明

五月十日



15-11

右申告ス

昭和二十一年十月三日

申告氏名	本籍地	現住所	所屬部隊	階級	入籍番號	海軍上等兵曹
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	七四〇 七二二部隊	同	[Redacted]	[Redacted]

備考

- (一) 本調査は部隊長より現住所及所屬部隊等々を以て、吳地方復員局へ通報せしめられしものにより付記載す。
- (二) 吳鎮在居る者の特務士官、准特務士官、下士官等に付記載す。
- (三) 同府縣人は勿論、他府縣出身者にも一々も記載す。
- (四) 知得しるる範圍に出来し限り詳細に記載す。
- (五) 他人の調査に依りて得しるる者當該欄に相手方を記載す。
- (六) 吳町先

吳地方復員局人事部長宛
吳町先

50-10

64596

現況不明者消息調査依頼票
 現況不明者消息調査依頼票
 英地方法員局人事部
 一九二一年八月

種別		本籍		人		欄	
現住所	元等級	本籍	所轄名	参考事項	死没年月	死没場所	死没状況
	エライ	普	二十歳	一九二〇年七月	一九二一年二月二六	セラム島	死没
	氏名	地	等級	氏名	其	池	

一、戦没者行方不明年月日及び其の場所又は地域を明確に知得し得るものは、場合は推定
 二、戦没者行方不明年月日及び其の場所又は地域を明確に知得し得るものは、場合は推定
 三、消息を確知し得るものは、他人から得た知得事項ありとも必ず記述しなくてはならない
 四、本票以外に戦没者表示済者高存じの際は追記して下さい
 五、英地方法員局人事部 履歴 宛送して下さい